



SESERAGI-MISHIMA Rotary Club

Weekly Report

せせらぎ三島ロータリークラブ週報

2008~2009年度 RI会長 李 東建

RIテーマ **Make Dreams Real** 夢をかたちに

クラブ会長基本テーマ「20年の生業を基に、仲間を増やそう」

会長 大房正治 副会長 山梨一正 幹事 鈴木政則

第929回 例会

2008.11.7(金) 曇り

司会：石井邦夫君 指揮：望月保延君
第1例会 「四つのテスト」朗読
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市大社町17-4

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会



撮影：山本章君

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 大房正治君



今月は、ロータリー財団の月。本日はロータリー奉仕の渡辺委員長の卓話です。

10月26日(日)の団栗拾いのご苦労様でした。生憎にも団栗は拾えませんでした。三島北中岡山校長先生の卓話が良かったので機会があったら再度皆様に聞いて頂きたいと思っております。当日箱根の里で三島青年会議所が「あの町・この街・ぼくの地域(まち)」というテーマで小学生60人位の宿泊勉強会をしていました。10年前、我がロータリーも同じ場所で青少年育成に燃えていたことを懐かしく思いました。急遽JC理事長に合同でやる了解を得て、三島北中学校8・9組生徒によるトーンチャイムの演奏と合唱を聞き、北中生の一途さが会場内の子供達と保護者そしてJCメンバーの胸を打ったのではないかと思います。

11月5日に第44代米国の大統領『yes we can』(私たちは出来る)「チェンジ」のオバマ氏に決まりました。NHKを筆頭にマスコミ関係が「初の黒人大統領」と報道されておりましたが人種差別の厳しい米国が、このような日本の報道を果たしてどうとらえるのかと思います。又バラク・フセイン・オバマ氏はミドルネームのフセインを隠しているように感じましたがこれも如何なものでしょうか。

今日の伊豆日日新聞に有効求人倍率は0.79倍、三島・田方の9月の雇用情勢が出ており、世界的に金融危機を背景とした国内の景気後退などで、雇用情勢が厳しさを増していることを示す結果となりました。10月・11月の株価を見ると今後の求人倍率の低下が想像され背筋が寒くなります。これから大変な時期に入っていく

わけですが、ロータリアンの英知を集約して冬の時代を乗り切って行きたいものです。

幹事報告

幹事 鈴木政則君

1. 地区大会のご案内

開催日	平成20年11月16日(日)
会場	ホテル センチュリー静岡
集合場所	楽寿園 北門(鈴木学園横)
集合時間	8時00分
出発	8時05分

プログラム

9.00-	登録受付
9.40-11.45	開会点鐘・本会議
	昼食
13.00-17.00	全体会議・閉会点鐘
17.15-18.45	大懇親会

■参加者

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 兼子悦三 | 2. 澤田 稔 | 3. 古屋憲男 |
| 4. 大房正治 | 5. 山梨一正 | 6. 渡辺照芳 |
| 7. 矢岸貞夫 | 8. 鈴木政則 | 9. 石井和郎 |
| 10. 新井 香 | | |

2. 11月21日の例会は休会になります

タイ自転車贈呈式に行きます

11月20日から24日まで

3. 本日、例会終了後 Bテーブルで 理事・役員会を開催します。

出席報告				
	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/38	68.42%	36/38	94.74%
今回	34/37	91.89%	会員総数	38名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			
	遠藤君、土屋君、山本良君			

おめでとう

会員誕生日 11月10日 岡 良森君
入会記念日 11月4日 山上光喜君

😊 スマイルボックス

石井司人君：大学の講義が始まり、例会日と重なり出席がままなりません。すみません。

大房正治君：10月26日（日）、例会の変更、箱根の里でドングリ拾いご苦労様でした。ご協力ありがとうございました。

片野誠一君：2週連続欠席をして申し訳ありませんでした。

中山和雄君：11月2日、長男明が結婚しました。ありがとうございました。

渡邊照芳君：今月はロータリー財団月間です。本日の卓話はロータリー奉仕委員会でお話をさせていただきます。

第5回 理事・役員会議事録

日時	平成20年11月7日（金） 19時30分～20時40分			
場所	Bテーブル			
出席者	大房	山梨	古屋	渡辺 矢岸 西原 鈴木 中村 兼子 片野 保坂 野中 小林 宮澤 中山
欠席者	澤田 遠藤			
オブザーガー	根津			
記録者	中山			
司会	鈴木			

■審議事項■

1. タイ自転車贈呈について

（根津国際奉仕プロジェクト委員長）

会から25万円補助金をいただき、他にパンク修理セット20個と空気入れ10セット5万円、文具セット2万円、合計32万円を特別会計より出していただきました。

他にボールペン800本（販促品）を持っていきます。

参加者 大人7名 中学生1名 合計8名で行ってきます。

承認

2. 会員候補者通知の承認について（鈴木幹事）

推薦者は私と土屋巧さんで、10月の例会にゲストとして来ていただきました杉山隆さんで、本人も入会を希望しており、職業は看板屋さんでせせらぎ三島に会の名前を変更した時に色々なものを作成していただいた方です。大変まじめな方ですのでよろしく願います。

承認

3. プログラムの変更について（西原理事）

地区大会クラブフォーラムCLPのプログラムについては、細かいところは別として大まかには今まで通りでよいでしょうか。

承認

4. その他

イ、20周年記念実行委員会（片野実行委員長）

今配布した、

1案 平成の名水百選に選ばれた源兵衛川に石碑を建てる。

場所は、源兵衛川広瀬橋公園内、費用30万

2案 白滝公園に案内板を建てる。

場所は、白滝公園入口、費用20万

3案 記念植樹 ハナミズキ

高さ3～4メートル 1本

石又はステンの名板。

場所は、新幹線三島北口緑地帯 費用10万

以上3点を20周年記念事業として設置したい。

承認

また4案と致しまして小学校4～5年生を対象に作文を書いてもらい、それを中学2年生の夏休み前に各自に送り返したい。理由はせせらぎ三島が青少年育成事業に取り組んでいる中で、非行に走る子供の時期が、中学2年生の夏休みが終わった後が圧倒的に多いと聞いております、それで純粋な幼少時代の自分の作文を、その時期に目を通す事により子供たちが自分自身を見つめ直すきっかけになればと考えます。

・古屋実行委員

先日、片野実行委員長、大房会長と3人で教育委員会に行ってきました、教育委員長、部長、課長と計6名でいろいろ話を聞いていただいたり、聞いたりしてきました、その中で教育委員会側と致しましても大変すばらしい企画と絶賛していただきました、部長は、普段の授業に取り組むのは難しいと思うが夏休みの課題としては可能な事と思う。

・渡辺理事 たとえば小学4年生で作文を書き中学2年生の時に送り返すと言っていましたが何年間の計画でやるのか、また経費はいくらぐらいなのか。

・片野実行委員長 出来れば3年間は継続したいですが、経費と致しましては、函南町の教育委員会とはまだ接触

いたしていませんが、もし三島、函南両校を対象に致しますと、来年の4年生に書いてもらったものを平成25年に送り返す事になります。その時に切手代が15万円ぐらいになります。

・矢岸理事 書いたものを4年後に送り返すと言う事はその間の保管はどうなるのか、また数年の継続事業となると1年ぐらい時間を掛けて検討しても良いのではないのか。

・西原理事 自分の会社も制服のダイレクトメールを送っていますが中学生の制服の紹介をし、同人に高校生の制服の紹介を発送すると約3割の方は転居等で返送されてきます、その辺の対応は考えているのか。

・片野実行委員長 まだいろいろな対応等は研究や方法論の検討をしなければならない事は沢山ありますが、出来れば20周年の記念事業の一環として取り入れて、式典でスライド等にて紹介をしたい。

・中山役員 どちらにしても継続事業となるのであれば、今日、この場で決議するのではなく、会員の皆さんに実行委員長から次回の例会にでもこのニュースを発し12月の理事役員会にて決議しても良いのでは。

・片野実行委員長、古屋実行委員同感いたしました。

卓 話

クラブフォーラム ロータリー奉仕委員会 渡邊照芳君

国際ロータリーの使命は他者に奉仕し、高い倫理基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーが集まる組織で、世界理解、親善、平和を推進することである。

■ロータリー財団の組織と使命

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーと法的に組織は違っても、その目的、使命、活動は両者共に一体のものであります。したがって、ロータリー財団は国際ロータリー会長エレクトを含む理事会メンバーが推薦し、理事会が選出した15名のロータリー財団管理委員によって運営されます。国際ロータリー理事会と管理委員会は密接に連携をとりあい協力しています。管理委員の内4名は国際ロータリー元会長で、管理委員の任期は4年です。使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

標語は「世界でよいことをしよう」これはアーチ・クアレがロータリー財団設立の時に述べた言葉です。

優先事項は

・すべてのプログラムと運営を簡素化すること

- ・プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものにする
- ・地区レベル、クラブレベルにおいて、ロータリー財団へより一層参加し、ロータリー財団を自分たちの財団と自覚すること
- ・プログラムの目標達成のための十分な資金と人材を提供すること
- ・未来の夢計画を支える効果的な方策を開発すること奉仕活動と資金調達は車の両輪です。

そして人類はひとつです。世界中の貧困や飢餓が減少し、社会が向上し世界が平和にならない限り、私たちの真の平和はありません。私たちロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化し、増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。

■教育的プログラム

これは国際親善奨学金があります。国際親善奨学金はロータリー財団発足以来、民間レベルとしては世界最大規模の奨学制度です。財団の国際親善奨学金には次のようなものがあります。

- ・1学年度（9ヶ月）の国際親善奨学金
- ・マルチイヤー国際親善奨学金
- ・文化研修のための国際親善奨学金
- ・研究グループ（GSE）

1965年に発足したロータリー財団の国際文化プログラムです。25歳から40歳までのチームメンバー4人とロータリアンのチームリーダーがGSEチームを構成し、2カ国がGSEチームを交換し、互いの国の文化や職業について学ぶもので、1965-67年度の34チームが参加しましたが、2006-07年度は558のGSEチームが参加しました。

■GSE関係の補助金

研究グループ交換参加の地区はGSE語学研修補助金（上限\$1000）および来訪チームのためのGSE地区大会助成金（上限\$500、来訪チームは単に壇上で紹介されるだけでなく地区大会で30分間のプレゼンテーションをし、地区大会の会議の大半に出席することも必要とされます）を申請することもできます。他国へ出発するGSEチームは語学研修助成金を申請できます。

■ポリオ・プラス

ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5年間の誓約でした。これが保険、飢餓追放および人間性尊重（3-H）プログラムの最初のプロジェクトで、国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与されました。



1980年代初めに、ロータリーは史上もっとも意欲的なプログラムを計画し始めました。世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムです。ロータリーは故アルバート・セービン博士の助言と支援を得て、1985年にポリオ・プラス・プログラムを設けました。ポリオと共に麻疹、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つとプラスして同時追放を目的としているため「ポリオ・プラス」と呼んでいましたが、ポリオ・プラスの「プラス」は最初の頃の意味と変わってきました。現在は世界的なポリオ撲滅運動がもたらした遺産のことを表しています。

ポリオ・プラス・プログラムの目標はポリオの撲滅を世界的に照明することです。

■ポリオ撲滅活動における国際ロータリーの貢献
何十万人ものボランティアが診療所で支援活動をした

り、また地域社会の人々を動員して予防接種やポリオ撲滅活動を実施したりしてきました。全体ではこれまで百万人以上のロータリアンがポリオ撲滅活動の成功に貢献してきました。ポリオ・プラス補助金による受益国は世界の122ヵ国がポリオ予防接種および撲滅活動の恩恵を受けてきました。予防接種を通じて毎年予防できたポリオ患者数は、開発途上国の約500万人の子供たちがポリオに罹ったと推定されますが、子の人たちが正常に歩いています。ポリオの予防接種を受けたからです。現在では毎年50万人以上がポリオを免れています。

次回卓話



11月14日(金) 12時30分
20周年実行委員会
片野誠一君

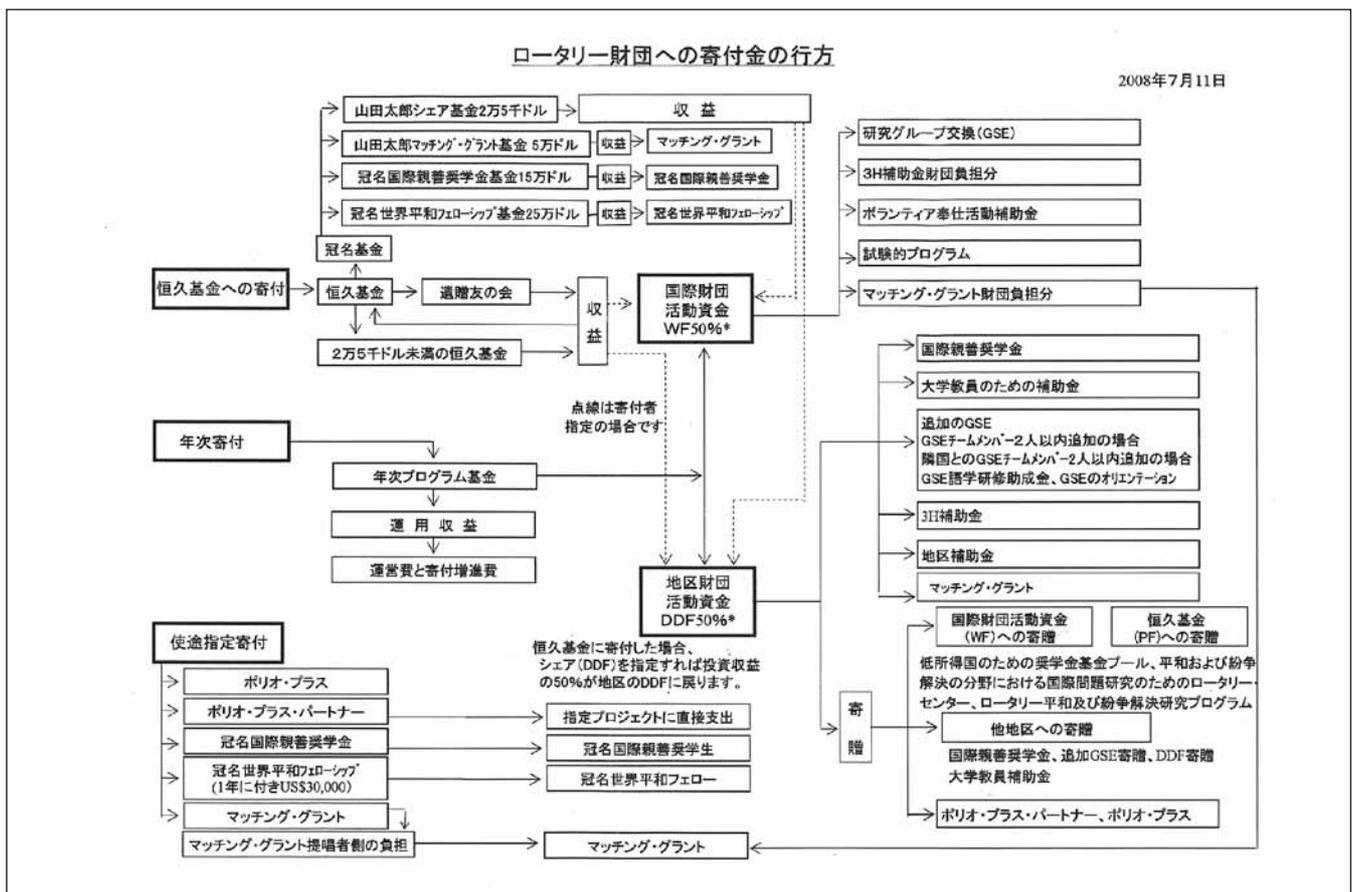


photo gallery



誕生日の岡君



入会記念日の山上君

